

屋根と空の風景 / 風景の Re-design

傾斜地の風景を変えます。
 傾斜地に家々が建っていくと、必然的にそこには屋根と空だけの風景が広がります。
 それはそこにしかない風景とも言えますが、山下を見下ろす屋根たちの姿は、どこか閉鎖的で自己中心的な意思を感じます。
 私たちは40坪という一般的な住宅の持つ平面を使って、傾斜地の風景の半分を占める、空ではない屋根を変えることで、そこに住む多くの人々に、変化へのヒントを与えられないかと考えました。
 私たちは40坪で、傾斜地の風景を変えるきっかけを提案します。

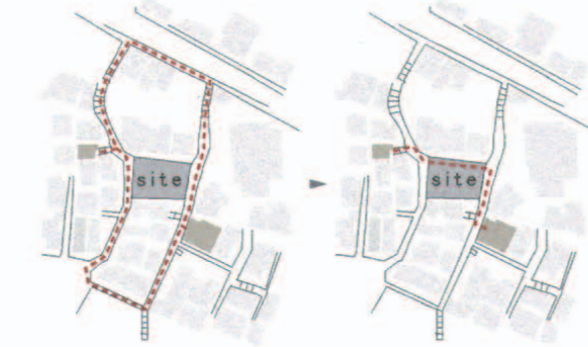


site_ 神奈川県戸部町

傾斜地で住宅地であり木造密集地域である神奈川県戸部を敷地とする。ここは上記の通り、おおよそ人が暮らすには、最適な敷地とは言えない。しかし多くの人が生活を送っているのもまた、まぎれもない事実である。
 私たちはこの戸部において、40坪に4戸の部屋を持つシェアハウスを計画し、今とは異なるもう一つの“傾斜地の風景”を提案します。

□ diagram / 屋根を変える方法

.step1 / 動線



複雑で不便だった傾斜地の道。屋根を動線にすることで、直線距離での移動が可能になる。

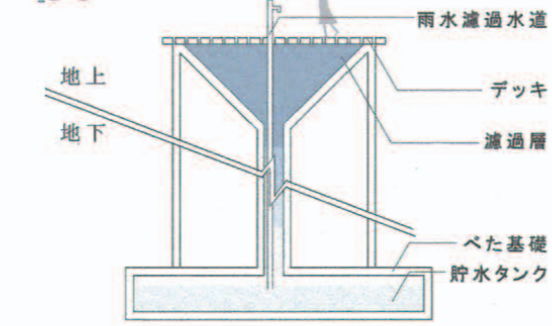
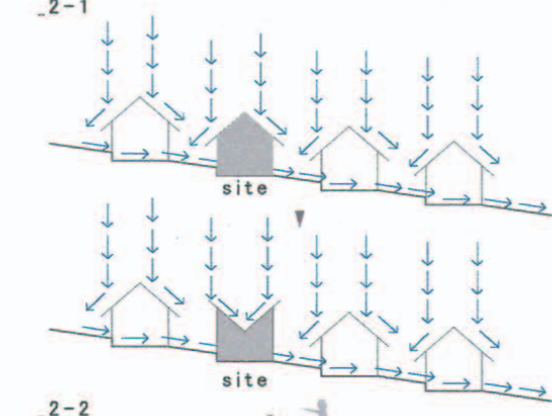
.step3 / コミュニティスペース



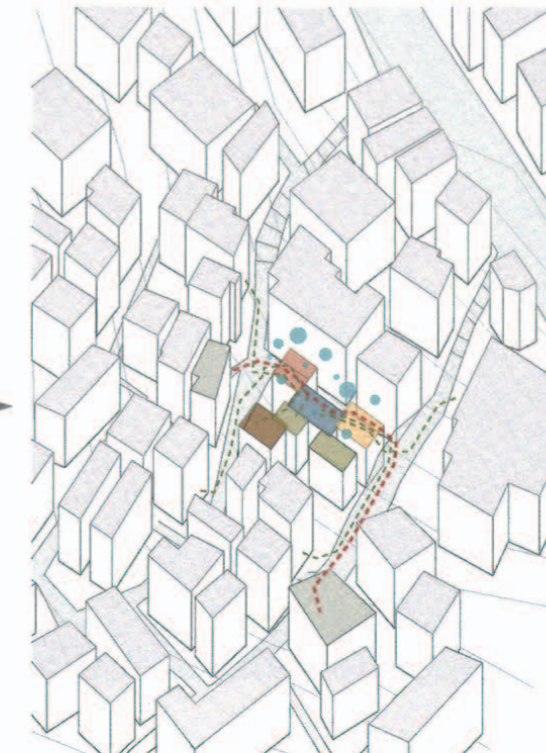
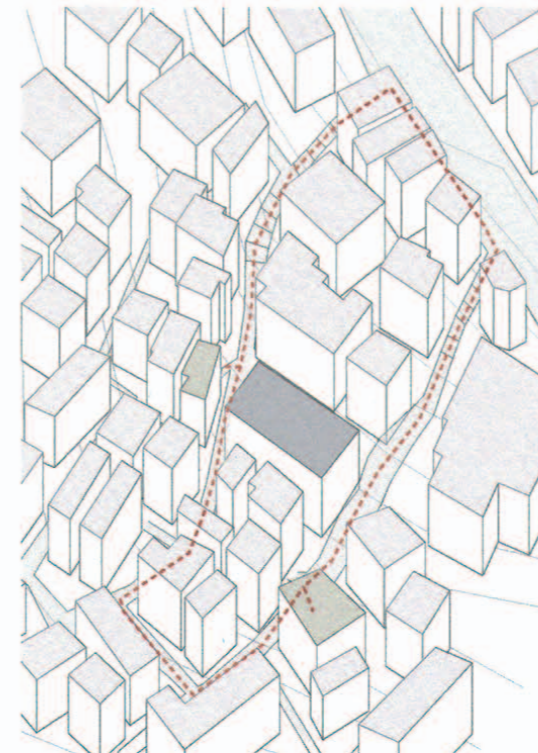
傾斜地は屋根が近い。40坪を傾斜に関係なく、分割しながら切り取る。人はその上を通り、水を求めて訪れてくる。

□ axonometric / 傾斜地の風景の Re-design

.step2 / 雨水濾過システム

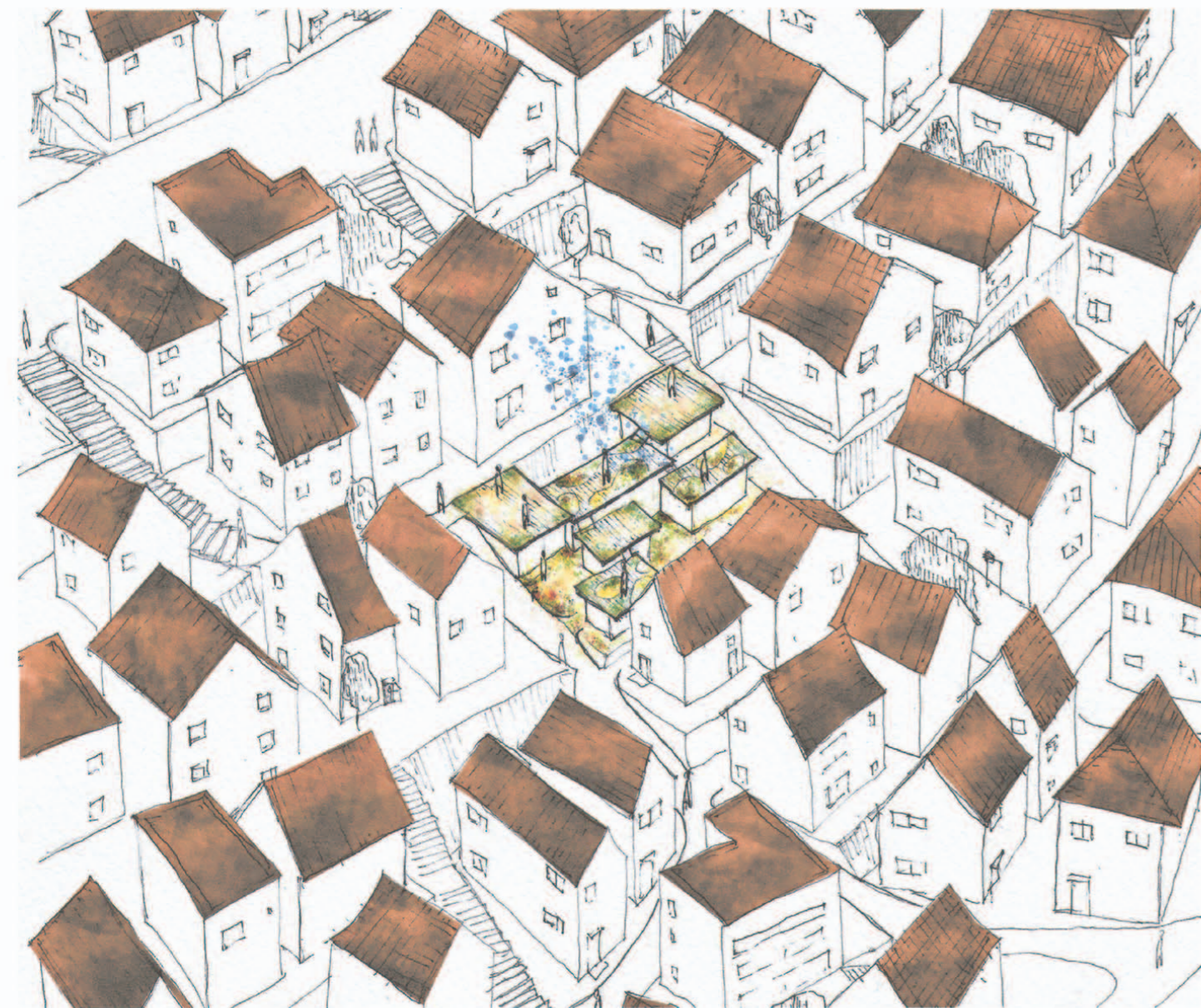


傾斜地で降る雨は下方へ流れる。屋根にろ過システムを組み込むことで、傾斜地の位置エネルギーを水に変換する。

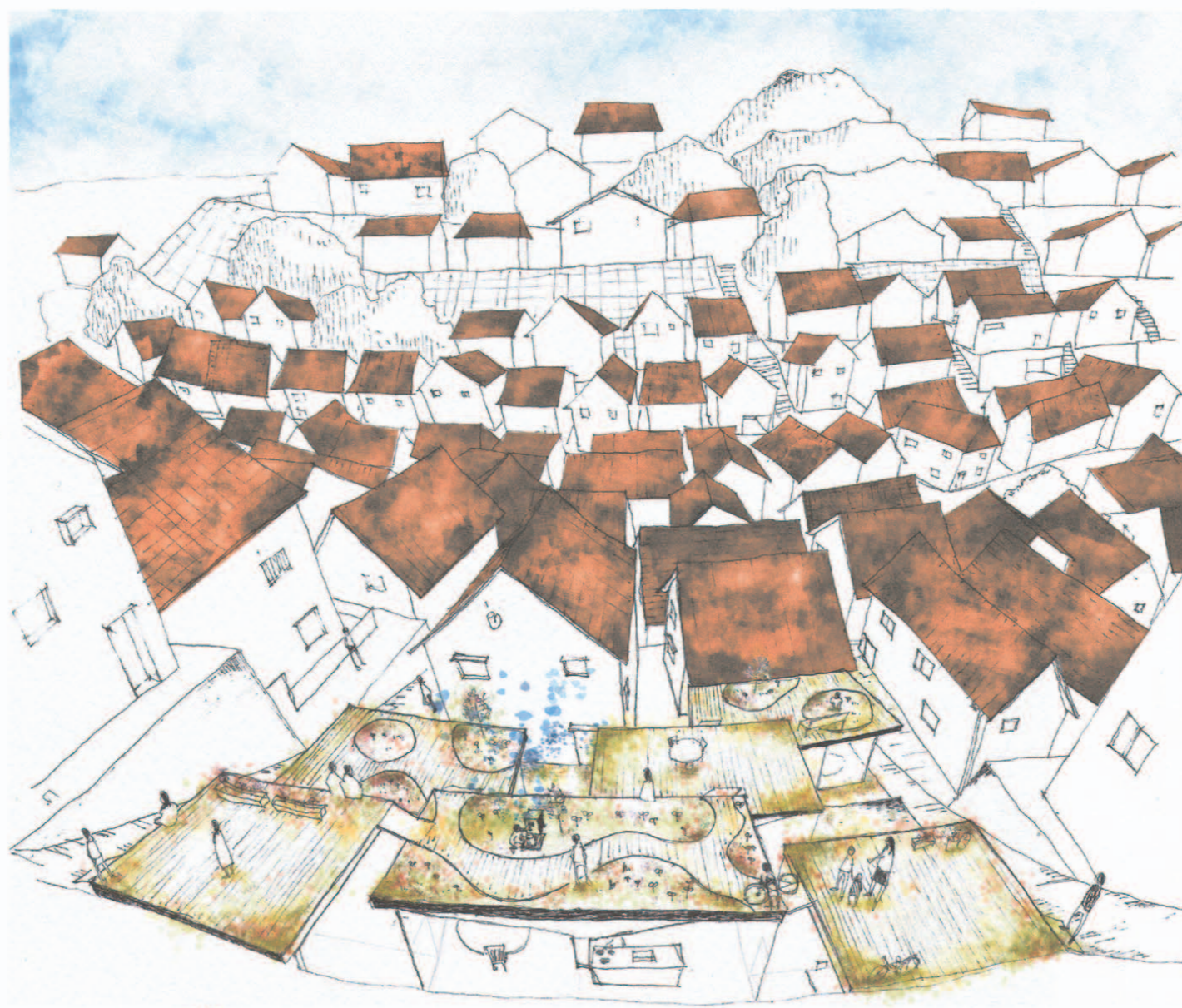


屋根と空によってつくられていた傾斜地の風景。その屋根を、道にし、水を集め、広場とすることで、この場所だけのコミュニティが生まれ、この場所だけの風景が生まれる。たった40坪で、風景の Re-designを行う。

□ interior / Living



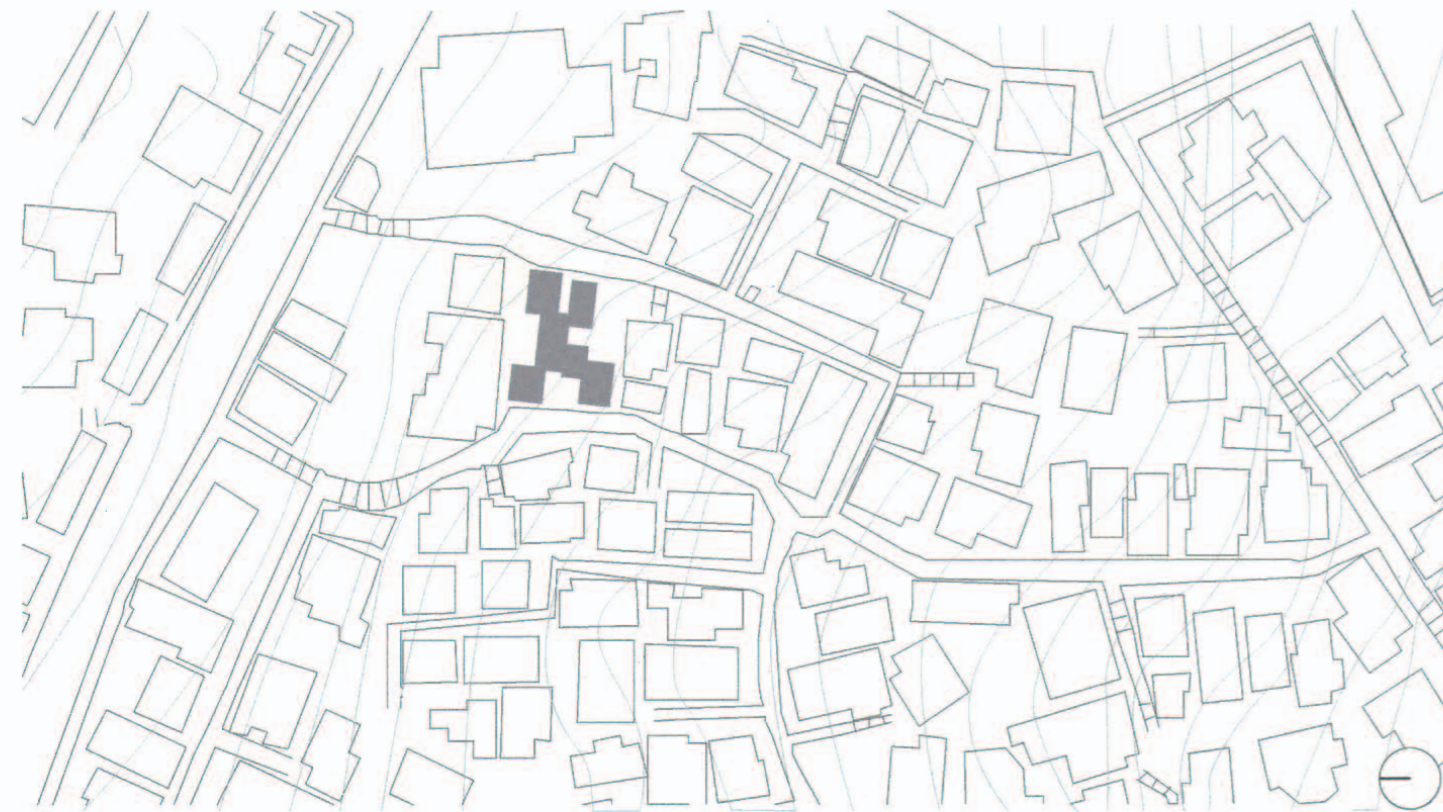
perspective_ 鳥瞰



perspective_ 風景



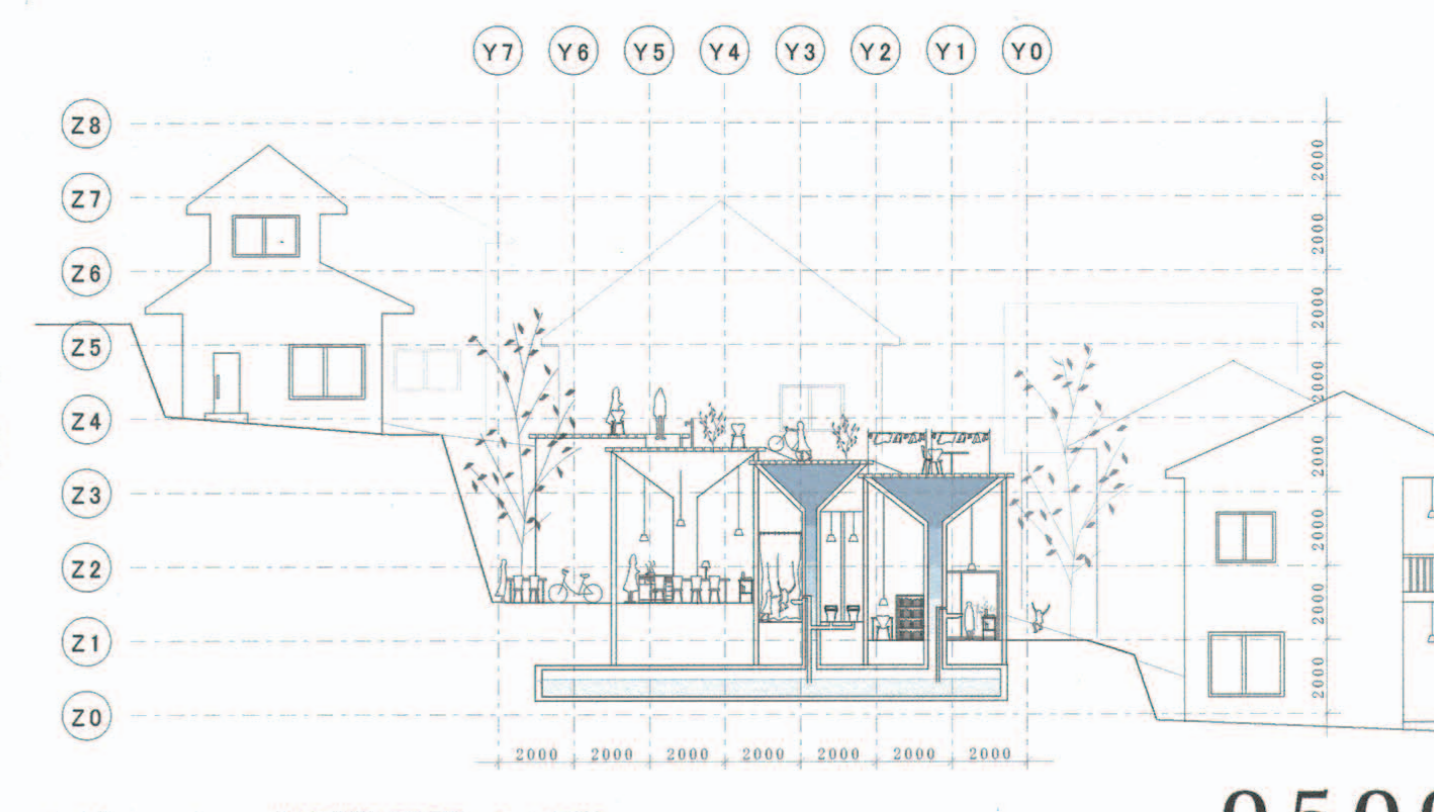
perspective_ 生活



site plan_ 神奈川県戸部町 S:1/1000



1F plan_ 神奈川県戸部町 S:1/200



A-A' section_ 神奈川県戸部町 S:1/200